



2019年5月期 第1四半期 決算補足説明資料

2018年10月12日

株式会社**SERIO**ホールディングス

証券コード：6567

仕事と家庭の
両立応援企業



未来を担う子どもたちの
成長応援企業



2019年5月期 第1四半期 損益計算書



	通期見通し	2019/5期 1Q実績	構成比	進捗率
売上高	6,305	1,597	100.0%	25.3%
就労支援事業	2,390	602	37.7%	25.2%
放課後事業	2,119	604	37.8%	28.5%
保育事業	1,795	390	24.4%	21.7%
売上原価	5,233	1,328	83.1%	25.4%
売上総利益	1,071	269	16.9%	25.1%
販売費及び 一般管理費	999	259	16.2%	25.9%
営業利益	72	10	0.7%	14.4%
経常利益	77	12	0.8%	16.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	50	5	0.3%	11.3%

(百万円)

- ▶ セグメント間で売上進捗率の差異は出ているものの、概ね予定どおりに推移した。
- ▶ 保育事業については、今期も順次新園を開園予定。既存園での園児受入数増加及び新園の開園を目的として増員のための採用活動を継続中。

2019年5月期 第1四半期 貸借対照表



	2018/5期末	2018/8期末	増減額	(百万円)
流動資産	2,336	1,935	△400	
現金及び預金	1,870	1,410	△460	
固定資産	1,284	1,495	211	
有形固定資産	993	1,194	200	
資産合計	3,627	3,437	△190	
流動負債	1,390	1,056	△333	
短期借入金	576	100	△476	
固定負債	635	781	146	
長期借入金	512	653	141	
負債合計	2,025	1,838	△186	
純資産	1,602	1,599	△3	
負債純資産合計	3,627	3,437	△190	

保育事業に係る先行費用について

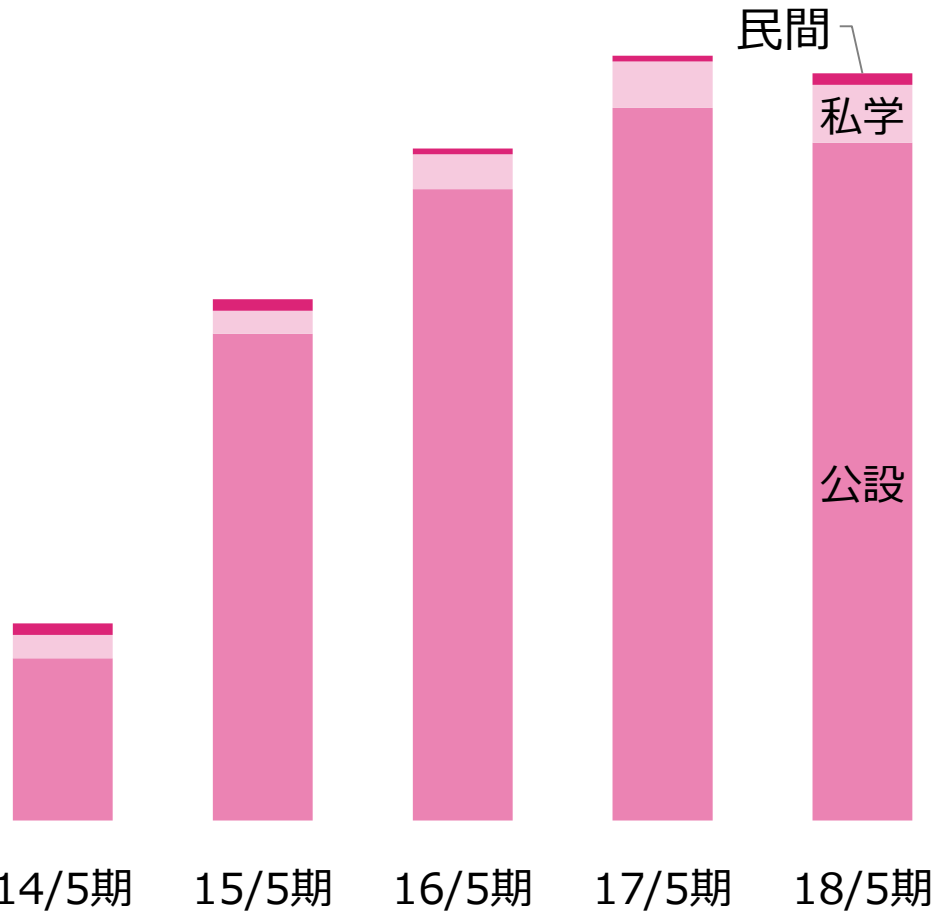


(百万円)

支出目的	科目	1 Q計上額
処遇改善加算金の一時精算 (一時的要因)	売上原価	13
既存園での園児受入数の増加及び 新園の開園を目的とした増員採用	販売費及び 一般管理費	15

- ▶ その他、人材確保と定着率の向上を図り、賃金ベースの増額を今期から実施
(原資の一部には処遇改善加算金を充当)

放課後事業 施設数推移



	公設	私学	民間	計
14/5期	28	4	2	34
15/5期	84	4	2	90
16/5期	109	6	1	116
17/5期	123	8	1	132
18/5期	117	10	2	129

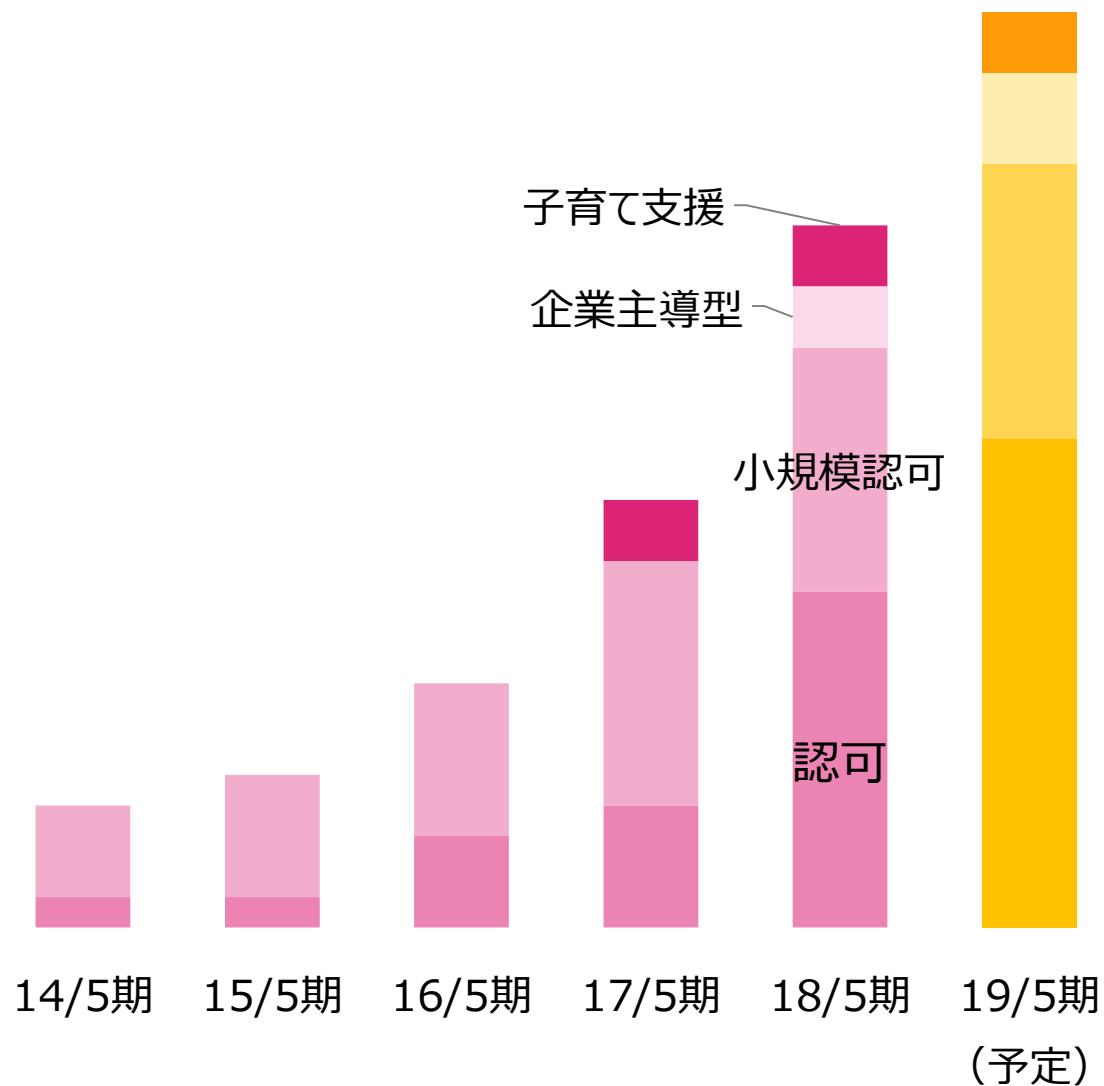
➤ 合計129の放課後施設を運営中

※ 2014/5期 大阪市2区28施設の受託運営を開始

※ 2015/5期 大阪市4区41施設、泉佐野市12施設の受託運営を開始

※ 2018/5期 委託契約満了に伴い2018/3月末をもって大阪市2区19施設の運営を終了

保育事業 施設数推移



	認可	小規模認可	企業主導型	子育て支援	計
14/5期	1	3	0	0	4
15/5期	1	4	0	0	5
16/5期	3	5	0	0	8
17/5期	4	8	0	2	14
18/5期	11	8	2	2	23
19/5期 (予定)	16	9	3	2	30

- 2018年6～10月に新たに3施設を開設
- 加えて、2019年5月期中に4施設の新規開設を予定

保育事業 新規開設施設 (2019年5月期)



運営形態	都道府県	施設数
認可	大阪府	3
	東京都	2
	認可計	5
小規模認可		1
企業主導型		1
2019/5期 新規開設 (予定) 合計		7

➤ 認可 (大阪府)

トレジャーキッズにしじゆく保育園 (2018/9月開園済)

トレジャーキッズてんのうでん保育園

トレジャーキッズかすが保育園

➤ 認可 (東京都)

トレジャーキッズひがしくるめ保育園 (2018/10月開園済)

トレジャーキッズあやせ保育園

➤ 小規模認可

エンジェルキッズ森ノ宮園

➤ 企業主導型

イオンゆめみらい保育園 広島祇園 (2018/6月開園済)

業績見通し等に関する注意事項



- 本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、
作成時点で取得している情報及び合理的であると判断する前提に
基づいたものであり、その実現を確約・保証するものではありません。